

2025年10月にX線TV装置が新しくなりました！



『Ultimax-i』 キヤノン社製

従来よりも更に【高画質】・【低被ばく】な検査が可能となりました。

◆特徴

- 高画質で低被ばく

『octave SP』という技術により、低被ばくかつ高画質な写真・動画を得られるようになりました。この技術は、リアルタイムで残像・コントラストの低下なくSN比を向上でき、さらにX線の吸収差による黒つぶれ、白とびが生じる部分を自動で最適な画像に補正を行うことができます。

これにより従来よりも照射線量を約65%も低減することが可能となりました。

- Cアーム搭載機器の利点

管球と検出器がC型の様にみえる「Cアーム」を搭載していることで、あらゆる角度から観察したい部位を見ることが可能です。また、患者さんが動くことなく正面と側面の観察が可能です。

- 新しく搭載した大型モニタ

透視の画像や撮影した画像・内視鏡の画像等が写るモニタを集約させ、術者が一目で様々な情報を得やすくなりました。

- ビデオレコーダーを常設

X線透視映像を常に録画できるビデオレコーダーを設置したため、検査終了後に画像や動画の確認が可能となりました。

2025年5月にX線TV装置が新しくなりました！



『Astorex i9』 キヤノン社製

従来よりも **【高画質】・【低被ばく】・【安全】** な検査が可能となりました。

◆特徴

- **高画質で低被ばく**

『octave i』というキヤノン独自のリアルタイム画像処理技術と低線量検査のためのアイテムを搭載したことで高画質と低線量の両立が実現しました。

- **新機能の『i-fluoro』**

従来では不可能であった検査台を動かさずに観察範囲を移動することや、拡大観察することができ、繊細な手技を行っている最中に検査台が動くことなく、スムーズで安全な検査を行うことが可能となりました。また患者さんにとってもベッドが動く際に感じる振動が少なくなり、安心して検査を受けていただくことが出来ます。

TV 検査

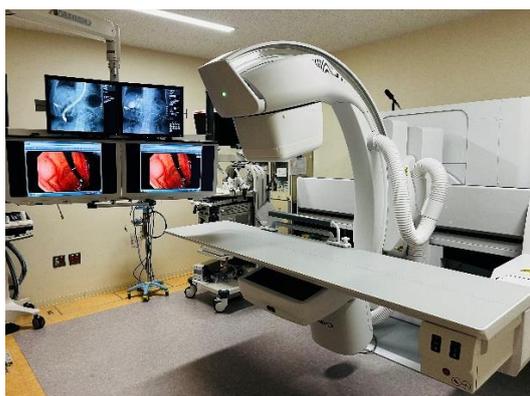
◆TV 検査とは

放射線(X線)を使って体の中を『透視』で観察でき、撮影も行うことができます。また造影剤というお薬を使って体の中の様々な状態を観察することができます。

身近な検査としては胃のバリウム検査がありますが、他にも様々な検査や治療で利用されています。

◆装置の紹介

当院では診断用に2台のTV装置が設置されています。



『Ultimax-i キヤノン社製』

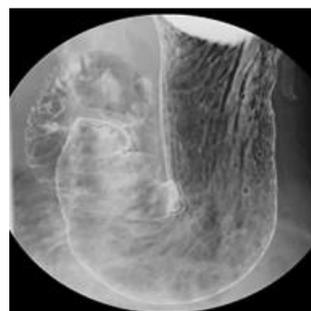


『Astorex i9 キヤノン社製』

◆検査の種類

上部消化管検査(胃バリウム検査)

バリウムと発泡剤を飲んで、食道、胃、十二指腸を観察する検査です。それぞれの形や粘膜の状態を観察し、潰瘍やポリープ、がん、憩室などの病気がないか調べることができます。



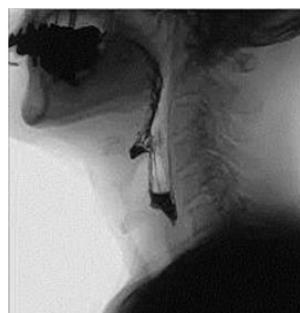
下部消化管検査（注腸検査）

お尻(肛門)からバリウムと空気を注入し大腸を観察する検査です。大腸の形や粘膜の状態を観察し病気がないか調べることができます。



嚥下造影

バリウムを混ぜた食べ物を飲み込む際の様子を観察する検査です。嚥下運動の評価や有無・飲み込んだ食べ物の通過の状態を調べることができます。



内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)

内視鏡と X 線 TV 装置を併用し、造影剤を使って胆嚢や胆管、膵管を調べます。またこの検査では胆管結石を取り除くことや、炎症や腫瘍などにより詰まった胆汁を排出させるための治療を行うことができます。



その他の検査

- ・ 脊椎ミエロ造影
- ・ 神経根ブロック
- ・ 腰椎穿刺
- ・ 膀胱造影 (CG)
- ・ 排尿時膀胱造影(VCG)
- ・ 点滴静注腎盂造影(DIP)
- ・ 子宮卵管造影(HSG)
- ・ 経皮経肝胆嚢ドレナージ(PTGBD)
- ・ 経皮経肝胆管ドレナージ(PTCD)

等